

平成16年度 ー関西大学リーグ戦績ー

大学Bリーグ

健闘するも最終結果7位で終わる!

	大阪経済大	花園大	摂南大	甲南大	大阪教育大	大阪産業大	関西大	大阪市立大	京都大	神戸大	勝	負	分	順位
大阪経済大		●	○	○	○	○	△	○	○	○	7	1	1	2
花園大	○		○	○	○	○	○	○	○	○	9	0		1
摂南大	●	●		○	●	○	●	○	○	○	5	4		4
甲南大	●	●	●		○	○	●	○	○	○	5	4		5
大阪教育大	●	●	○	●		○	●	○	○	●	3	6		8
大阪産業大	●	●	●	●	○		○	○	○	○	5	4		6
関西大	△	●	○	○	○	●		○	○	○	6	2	1	3
大阪市立大	●	●	●	●	●	●	●		●	●	0	9		10
京都大	●	●	●	●	●	●	●	○		●	1	8		9
神戸大	●	●	●	●	○	●	●	○	○		3	6		7

主務 貴志 泰正

今年度は、当初から一戦一戦に全力を傾注し、その結果としてBリーグの上位進出を目標として来たが、残念ながら怪我人の続出などに因り、全試合にベスト・メンバーで臨みず、最終の戦績は3勝6敗となり、Bリーグ第7位で終了いたしました。関西の国公立大学のなかでは、わが神戸大学が第1位となったものの、惜しむらくは試合内容で勝っていた摂南大学戦および関西大学戦で惜敗したことが今となっては非常に悔やまれます。今年度は、記念すべき神戸商船大学ラグビー部との合併もあり、大いに期待されていたため、勝てる試合を落としたことは残念至極であった。

現在、各私学は大学経営の一環としてラグビーに注力している。そのような中で、わが神戸大学が7位とはゆえ、今シーズン、関西大学Bリーグで活躍したことは大健闘と云えよう。

入替戦はBリーグ9位の京都大学、同10位の大阪市立大学が出場する運びとなり、わが神戸大学は久方ぶりに免れること出来ました。

2004年9月19日(日) リーグ第1節 VS 大阪教育大学

11:30K.O. 大阪市立大学G

前 17 - 5

後 12 - 5

計 29 - 10

【メンバー】

1 岩崎(4) 2 高橋(3) 3 芝野(1) 4 足立(4) 5 田口(4) ⑥ 寺井(4) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 辻子(2) 10 石井(1) 11 高野(4) 12 植村(3) 13 服部(4) 14 桐生(2) 15 山崎(3) 16 中居(2) 17 林(4) 18 真壁(3) 19 井田(4) 20 石田(M1) 21 藤永(3) 22 衛藤(2)

【戦評】

前半9分、ラインアウトからモールを形成し先制トライを奪うとその直後にはスクラムトライ。その後1トライを返されるも、前半終了間際には再びラインアウトからのモールよりトライ。後半は1トライずつ取り合うが、35分主将寺井のトライにより突き放した。

近畿国立大会で大教大から勝利を収めた意味を失わないよう、チーム一同初戦に集中してきた。その甲斐あって、素晴らしい滑り出しとなった。また、現役メンバーにとってはBリーグでの初勝利という記念すべき日となった。

2004年9月26日(日) リーグ第2節 VS 甲南大学

11:30K.O. 大阪経済大学G

前 0 - 26

後 7 - 19

計 7 - 45

【メンバー】

1 岩崎(4) 2 高橋(3) 3 芝野(1) 4 田口(4) 5 真壁(3) ⑥ 寺井(4) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 辻子(2) 10 石井(1) 11 高野(4)

12植村(3) 13服部(4) 14桐生(2) 15山崎(3) 16中居(2) 17林(4) 18大谷(1) 19井田(4) 20石田(M1) 21 藤永(3) 22 衛藤(2)

【戦評】

連勝スタートを期して挑んだ2戦目であったが、開始1分に先制を許すとその後も防戦一方。前半だけで4トライを奪われる。後半ラインアウトからのモールより1トライを返すも得点はこれのみ。改めてBリーグの厳しさを知る敗戦となった。

2004年10月10日(日) リーグ第3節 VS 摂南大学

13:10K.O 大阪経済大学G

前 15 - 7
後 5 - 22
計 20 - 49

【メンバー】

1 中居(2) 2 高橋(3) 3 芝野(1) 4 田口(4) 5 真壁(3) ⑥井田(4) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 辻子(2) 10 石井(1) 11 松井(3) 12 服部(4) 13 木下(2) 14 桐生(2) 15 山崎(3) 16 林(4) 17 井上(3) 18 大谷(1) 19 門田(5) 20 富安(1) 21 植村(3) 22 衛藤(2)

【戦評】

前半18分に先制のトライを挙げると24分にも再びトライ。その後、1トライずつ奪い合い前半を15対7で折り返す。後半、先にトライを許すも、すぐに取り返し8点差をキープ。しかし、21分にトライを奪われ1点差に迫られる。その後も我慢強く戦うも32分ついに逆転を許す。結局、ロスタイムにペナルティーゴールで突き放されたところでノーサイド。

大変悔しい敗戦となったが、数年前までAリーグに所属していたチームに善戦したことは大きな自信となった。

2004年10月17日(日) リーグ第4節 VS 花園大学

14:40K.O 神大六甲台G

前 22 - 15
後 0 - 34
計 22 - 49

【メンバー】

1 岩崎(4) 2 高橋(3) 3 芝野(1) 4 田口(4) 5 真壁(3) ⑥寺井(4) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 辻子(2) 10 石井(1) 11 松井(3) 12 植村(3) 13 服部(4) 14 桐生(2) 15 山崎(3) 16 林(4) 17 中居(2) 18 大谷(1) 19 井田(4) 20 富安(1) 21 藤永(3) 22 衛藤(2)

【戦評】

トンガ人留学生を擁する花園大学との試合は、先制を許すも得意のラインアウトからのモールより2トライを奪い逆転。その後、1トライずつ追加。前半終了間際にペナルティーゴールで点差を広げる理想的な試合運びで

7点差で折り返す。後半も我慢強く戦うが、サイズで上回る花園大に次第に押され出す。14分に逆転のトライを許すと、その後も得点を重ねられ49失点は今季最多。しかし、前半の戦いは上位チームとも十分渡り合えることを証明できたと云えるだろう。

004年10月24日(日) リーグ第5節 VS 大阪経済大学

13:10K.O 大阪市立大学G

前 0 - 14
後 0 - 19
計 0 - 33

【メンバー】

1 岩崎(4) ②寺井(4) 3 芝野(1) 4 田口(4) 5 真壁(3) 6 中居(2) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 辻子(2) 10 石井(1) 11 松井(3) 12 植村(3) 13 服部(4) 14 桐生(2) 15 山崎(3) 16 平林(4) 17 井上(3) 18 大谷(1) 19 富安(1) 20 藤井(4) 21 藤永(3) 22 衛藤(2)

【戦評】

開始後しばらくは膠着状態。前半は2トライを許して14点差。後半もよく防いだが、3トライを許す。幾度となくゴール前に迫るが得点を奪えず、今期唯一の完封負け。悔しい敗戦となった。

2004年10月31日(日) リーグ第6節 VS 大阪産業大学

11:30K.O 関西大学高槻G

前 7 - 21
後 5 - 21
計 12 - 42

【メンバー】

1 岩崎(4) 2 高橋(3) 3 芝野(1) 4 田口(4) 5 真壁(3) ⑥寺井(4) 7 松浦(4) 8 服部(4) 9 松井(3) 10 石井(1) 11 松本(4) 12 伊藤真(1) 13 藤井(4) 14 桐生(2) 15 山崎(3) 16 中居(2) 17 林(4) 18 大谷(1) 19 井田(4) 20 富安(1) 21 藤永(3) 22 衛藤(2)

【戦評】

前半13分までに3トライを奪われる苦しい展開。前半終了間際と後半開始直後にトライを返し9点差とするも、反撃はここまで。試合終了間際に点差を開けられての敗戦。春シーズンの練習試合での雪辱を期す相手チームの気迫が神戸大を上回っていたように感じた。

2004年11月14日(日) リーグ第7節 VS 大阪市立大学

12:30K.O 鶴見緑地G

前 17 - 0
後 12 - 0
計 29 - 0

【メンバー】

1 岩崎(4) 2 高橋(3) 3 芝野(1) 4 足立(4) 5 田口(4) ⑥寺井(4) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 富安(1) 10 石井(1) 11 松本(4)

12 伊藤(1) 13服部(4) 14桐生(2) 15山崎(3) 16中居(2) 17林(4) 18大谷(1) 19井田(4) 20藤井(4) 21藤永(3) 22衛藤(2)

【戦評】

前半14分に先制。その後、2トライを追加して17対0で前半を折り返す。後半9分にトライを挙げた後、膠着状態が続くも危ない試合運び。試合終了間際に1トライを追加。三商戦に続く市大からの勝利で、待望の今季2勝目を挙げた。

2004年11月21日（日）リーグ第8節 VS京都大学

13：10K.O 大阪経済大学G

前 12 - 12

後 17 - 0

計 29 - 12

【メンバー】

1 岩崎(4) 2 高橋(3) 3 林(4) 4 田口(4) 5 足立(4) ⑥寺井(4) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 富安(1) 10石井(1) 11 松本(4) 12 木下(2) 13服部(4) 14桐生(2) 15山崎(3) 16中居(2) 17井上(3) 18真壁(3) 19井田(4) 20植村(3) 21伊藤(1) 22松井(3)

【戦評】

前半16分先制を許すも、得意のラインアウトからのモールにより2トライを返し逆転。しかし、前半終了間際、同点に追いつかれる。もし落とせば、Cリーグとの入れ替え戦出場の可能性が出てくる大事な一戦。後半集中力を高めた神戸大は、23分までに3トライを追加。食い下がる京大を気迫のこもったディフェンスで防ぎ、後半は完封。連勝で今季3勝目を挙げ、最終戦を前にBリーグ残留も決定した。

2004年11月28日（日）リーグ第9節 VS 関西大学

14：40K.O 関大千里山G

前 10 - 19

後 12 - 10

計 22 - 29

【メンバー】

1 岩崎(4) 2 高橋(3) 3 林(4) 4 田口(4) 5 足立(4) ⑥寺井(4) 7 松浦(4) 8 大羽(2) 9 富安(1) 10石井(1) 11 松本(4) 12 植村(3) 13服部(4) 14松井(3) 15山崎(3) 16中居(2) 17井上(3) 18真壁(3) 19井田(4) 20伊藤(1) 21藤永(3) 22桐生(2)

【戦評】

前半12分、20分と続けてトライを奪われ序盤は関大ペースも、2トライを返し前半を終わって9点差。後半14分までに関大が2トライ、神戸大が1トライを挙げ、その差は12点。しかし、ここから神戸大が攻撃を継続。30分、ラインアウトからのモールよりトライを挙げ、7点

差に詰め寄る。さらにその後も、敵陣ゴール前に何度も迫る。しかし、無情にも得点ならずノーサイド。敗れはしたが、試合終了間際の怒涛の攻撃は今季の神戸大学のラグビーを象徴した素晴らしいものであった。また、私自身がゲームに出られなかったから書くようで恐縮だが、メンバーに入れずに観戦していた部員で、仲間の熱いプレーに涙する者が何人もいた。有終の美と呼ぶことのできる内容であったと思う。

他大学の入替戦結果

Aリーグの関西学院大学、龍谷大学は残留を決める！
京都大学はBリーグ残留、大阪市立大学はCリーグ転落！

12月5日（日）

大阪市立大学（B10位） 10-48 大阪学院大学（C1位）

京都大学（B9位） 54-7 大阪大学（C2位）

12月12日（日）

龍谷大学（A8位） 48-30 花園大学（B1位）

関西学院大学（A7位） 27-18 大阪経済大学（B2位）

ブラジル在住の勝屋 岩雄氏（S32卒） 一時帰国の歓迎会が開催さる！

勝屋氏の一時帰国を歓迎する会が、関西在住でS27～S36卒のOB有志の方々、20名が、安中一雄氏（S32卒）の肝いりで集い、去る1月14日に神戸市内で開催されました。

東京においても引き続き、東京支部長・野川寛人氏（S33卒）の呼びかけで歓迎会が開催されたとのこと。なお、当日のご出席者は下記のとおり。（順不同）

勝屋岩雄氏（S32卒）、太田奎吾氏（S27卒）、子安武氏（S29卒）、赤崎三郎氏、横田淳一郎氏（S30卒）、松本昭一氏、小林恒夫氏、盤井保雄氏、伊藤信吉氏、永井長造氏、浅野彰久氏、高塚宰相氏（S31卒）、安中一雄氏（S32卒）、名取佳宏氏、浜田信氏（S33卒）、野村康治氏、塩谷時彦氏（S34卒）、多々見道雄氏（S35卒）、山口秀夫（S36卒）、ビジターとして依藤益長氏・・・以上20名

同歓迎会・ご出席者の寄せ書きをご紹介します。

ブラジルのラグビー 勝屋 岩雄氏（S32卒）

私がブラジルに着いたのは1957年10月でした。当時、サンパウロにはイギリス人のラグビーチームが一つあるだけでした。

それから暫くして、私達・日本人の若者(大半は日本の大学、高校でのラグビー経験者)が集まり、「サンパウロ・ラグビーフットボールクラブ」と言う、大層立派な名前のチームを作り、早速、試合を申し込みました。イギリス人達も対戦相手が出来たという訳から大喜びで、いつも試合が終わると連中のクラブで一杯奢ってくれるので、当時、素寒貧の私達もそれを楽しみに週末になるとバス、電車に乗って遠いグラウンドに通ったものです。

その後、カナダ、フランス、アルゼンチンのチームも出来、また大学生チームも4クラブが出現、リーグ戦が行われるようになりました。1970年代に入ると、われわれ日本人も家族を持ち、子供が大きくなると自分達の息子にラグビーを教え、親子でラグビーをしていました。しかし、1990年代に入ると親達が年を取り、先ずダウン。子供達も学校を出て仕事を持ち、結婚すると共に、段々とラグビーが遠のき、今ではチームは自然消滅になって仕舞いました。

40年以上昔、日本人とイギリス人が種を蒔いたブラジルのラグビーは、現在、サンパウロだけでクラブチーム、大学、高校を併せて14~15ある筈です。その技量の程は、国技のサッカーフットボールと違ってラグビー人口そのものが少ない原因もあって、隣国のアルゼンチン、ウルグアイには遠く及ばないようです。

OB会長 子安 武氏 (S29卒)

昭和28年4月、神戸大学ラグビー部に入部した快足ウィング勝屋君。

右のウィングで左のウィングまで走ってタックルしたのは、当時、関西の大学では数少ない一人でした。

「直島」 横田 淳一郎氏 (S30卒)

私達、昭和シングル族に共通することは、極めて感受性の強い世代に、あの太平洋戦争という一つの時期を通り過して来たことであろう。平和の時代のボーイングは「ジャンボ・ジェット」として旅行客を運んでいるが、戦争中は「空飛ぶ要塞」として焼夷弾、爆弾の雨を降らせて来た。近くに落ちた爆弾のため、わが家の床の間の天井、屋根が吹っ飛ばされ、しばらくの間、星空を眺めながら眠りに付く日々が続いた。

さて、昭和27年、大学2年のとき、私達は瀬戸内海に浮かぶ「直島」で夏季合宿を行った。たまたま先輩が同島にあるM精錬所に勤務されており、この関係からこの島が合宿所に選ばれたのである。聞かされていたが、上陸するや否や胸の奥までツンとくる精錬所

特有の異臭・・・。

この島だけが禿山状態に近く、樹木も大人の背丈以上には伸びないと云うことであった。硬水である島の水は石鹸を溶かさず、風呂に入っても汗を流し切っていなかったはずで、私達40人ばかりがタムロする当時の合宿所は相当くさかったに違いない。

合宿初日、私はキャプテンに呼ばれ、「秋のシーズンよりポジションを変える」と告げられ、そのため私を「徹底的に鍛え上げる」旨、併せ伝えられた。不器用ではあったが、あの楕円球を案外蹴っ飛ばすところを見込まれたのか、それまでキック、守備専門型のフルバックをやらされていたのを、これからは「フォワード、フロントロー(プロップ)でスクラムを組め」というのである。判り易く云えば、蹴っ飛ばし屋から押し込み屋への配置替えであった。

国際試合、トップリーグ等のテレビで写しだされる双方8名ずつで組まれる、あのスクラムも、彼等がトップレベルにあるからこそ美事なのであって、ビギナーたる私にとっては首の入れ方・とり方、手首の握り方、背中の伸ばし方、膝の支え方、等々、見れば簡単であっても難しく、いわんや8人揃っての呼吸の合わせ方のコツはなかなか身体が覚えてくれなかった。午前、午後の全体練習で皆が引き上げたあとに残され、新・旧制大学混合期の当時には、まだ在籍されていた陸軍士官学校、海軍兵学校帰りの上級生、若手OBに取り囲まれながら、スクラムを組んだままの姿勢でグラウンドを往復させられる日課が合宿期間中続けられた。

瀬戸内特有の風に加えて、ギラギラ照り付ける夏の太陽が無性に腹立たしかったのである。合宿所への帰路、口にしてはならないアイス・キャンデーをムサボリ食ったため、尾篋な話だが、期間中下痢に悩まされ通しであり、それでも力を付けねば、と硬水で煮立てたガサガサのメシを茶漬けで腹の中に流し込んでいたような次第で、全く栄養補給どころではなかった。帰宅後、しばらくして両脚が異様にムクムク膨れ上がってきた。「極度の疲労を伴う栄養失調症」という、物質的ゆとりも出てきた、昭和20年代も末の頃の医師の診断であった。

大学4年間、都合7回の合宿経験のうち、この夏はコテンパンであったのである。然し、ひたむきに立ち向かえば、いかに辛かったことでも、時が流れて懐かしい思い出になる。

わが人生に今日まで、楽しみ、喜び、興奮、感動を与え続けたラグビーというスポーツを知り得たこ

とに心から感謝している。

松本 昭一氏 (S31卒)

1月14日、ブラジルに腰を据えた勝屋岩雄君(S32卒)の一時帰国・歓迎会ということで、JR神戸駅前のレストランに出かけた。彼の前後数年次のチームメイトが20人程。かつて一緒にプレーした懐かしい顔が揃った。70歳位の筈だが、みんな結構若い。

勝屋君のブラジル歴も、程なく50年という。その間、同国の人口は1億5千万人に倍増したらしい。カーニバルから10ヶ月目の誕生日が多いというお国柄のせいかも……。因みに、住民票に母親の名はあるが父親の欄は無いそうだ。

僅か数日の仮装ダンスのために1年間の稼ぎを注ぎ込んでしまうという大らかな国民性。

世の中いろいろ、地球の裏側から元気を貰った。

小林 恒夫氏 (S31卒)

脊柱管狭窄症で悩んでいます。

山歩きが趣味でしたが、70歳の時に燕岳から乗鞍岳まで縦走したのを最後に北アルプス行きを止め、六甲ぐらいで我慢してます。ラグビーをやっている時は、フッカーかプロップが専門でしたが、その時の無理が祟っているのかも知れません。

盤井 保雄氏 (S31卒)

今までご無沙汰していましたが、暇になりましたので、これからも集まりがあれば、必ず出席したいと思います。

私事です、孫が男6、女2出来ました。男児の中、何人かはラグビーに仕立て上げたいのが念願です。その時分には空の上ですが。

伊藤 信吉氏 (S31卒)

ラグビーは朋心合力!!

永井 長造氏 (S31卒)

勝屋兄、来年も会いましょう。

西須磨小学校の5年生の時、同じ組だった事を思い出します。

高塚 宰氏 (S31卒)

「勝也君の一時帰国の都度、歓迎会に参加して」

合宿で同じ釜の飯を食ったラグビーと会食するのは、とても楽しく、昔話に花を咲かせ、若返ったひと時を

過せる。昨年は、現役の最終戦・VS関西大学に善戦する試合を応援した。

今年も頑張してほしい

安中 一雄氏 (S32卒)

数少ない同期生として、時々の一時帰国を楽しみにしています。同じ時期にプレーをした先輩や後輩と、このような機会に再会でき、懐かしく語り合えることを本当に有意義と思います。

出来ることなら、少しでも長く、このような機会をお互いに元気で持てるよう祈る次第です。

名取 佳宏氏 (S33卒)

日本でブラジルの風景など、テレビで観るとアマゾンの景色が殆どで、その他は広々とした平原だけだが、聞く処によるとサンパウロ近辺の街は非常に美しい都会であるそうです。

勝屋先輩は神大卒業後、思い切ってブラジルに行かれて成功されたようですが、ご健在のうちに一度、行って見たいと思います。

浜田 信氏 (S33卒)

尾上二郎氏(S47卒)からの便り(後掲)を拝見して疑問に思ったのは、ペルーはアンデス山脈の国で、クスコなんかは海拔3000米に在って、そんな高地でラグビーなんかやったら、心臓が口から飛び出すのとチャウかな?と思っていたが、勝屋氏のアドバイスによれば、リマは高度も低いので大丈夫との事、やや安心しましたが、それにしても南緯10度といえば、北緯10度付近ではパナマ国とかセイロン国あたりだから、冬の時期でも随分暑いのとチャウか?と、またまた心配と、イギリス人とは体力が強い人種かと、またまた感心。

勝屋氏のお土産のブラジルコーヒーをススリながら地図でも見るか。

野村 康治氏 (S34卒)

今日は勝屋さんの帰国に合わせて安中さんの肝いりにて諸先輩と久し振りにお話させていただき、新年の大きな喜びでした。皆様とお話をしている内に、年のことは忘れて突然、数十年前の雰囲気になってしまい、実に楽しい時間でした。気が付けば、私は若い方から数えて3番目、そう若手というべきでしたが、諸先輩の元気さには、「とても、とても」と言う感じでした。

これからも機会があれば、何度でもお会いしたいものです。

塩谷 時彦氏 (S34卒)

そろそろ現役引退の時期かな。

本日、お会いした諸先輩のリラックスムード、うらやましい!

現在、孫3人、全て奈良県内で“来てウレシ、帰ってウレシ”の毎日です。

多々見 道雄氏 (S35卒)

神大ラグビーが私の原点となっています。

皆さん、有難うございました。

ペルーのラグビー事情

尾上 二郎氏 (S47卒)

このほど、三井物産・ペルー国リマ駐在の尾上二郎氏から年賀状が送付されて参りました。

その文面からペルーのラグビーの現況が汲み取れますので紹介させていただきます。

「私が30年前、当地で生活を始めた頃には、英系の人達を除きRUGBYは全くされていませんでした。

今回、赴任して驚いたのは、サッカーのみならずRUGBY (Minorですが) 結構PLAYされています。

ペルーも変わって来ました。

神戸大RUGBYのBリーグ残留、喜んでいます。

よいお年をお迎えください。……尾上二郎」(追記) 同氏は、阪神大震災直後の平成11年、ベルギーの駐在時に、神戸大ラグーマンの溜り場であった「喫茶・IF」(阪急六甲駅付近)の再建について寄稿していただきました。

会報担当では、皆々様からご寄稿をお待ちしております。

神戸商船大学OBの受け入れについて

神戸商船大学の合併に伴い、神戸大学ラグビー部OB会は、神戸商船大学OB(約300名)の方々のうち、当会に参加希望する方々を順次受け入れること決議していましたが、このたび、28名の方々から入会の申し出があり、先般、理事会において諒承されましたのでご報告いたします。

なお、次の年次総会において神戸商船大学OB側の纏め役として、入会者から理事(1名)を選出される予定です。

平成17年度年次総会の開催通知

例年通り、平成17年4月29日(祝)、神戸大学ラグビー部OB会の「年次総会」が開催されます。

今年度は、神戸商船大学OB会から新しく入会されました方々の「歓迎会」も兼ねておりますのでOB各位の奮ってご参加を下さいますよう、お願い申し上げます。

追って、事務局から案内状を送りますが、ご予定下さいますよう、ご通知いたします。

会 費 納 入 の お 願 い

お陰さまで、OB会員数は年々増加して来ております。さらに神戸商船大学との合併により、OB会員総数は530名に近づきました。然し、誠に残念ながら会費の納入率は逆に低下しており、現役補助はおろかOB会の運営にも支障を来すような実情となっております。

恐れ入りますが、未納者は、大至急、納入して下さいますよう、お願い申し上げます。

年会費 10,000円

○ 三井住友銀行 天満橋支店

普通預金 No.957978 凌霜ラグークラブ

○ UFJ銀行 大阪駅前支店

普通預金 No.27557 凌霜ラグークラブ

○ 郵便局 00960-4-302152 凌霜ラグークラブ

神戸大学ラグビー部OB会の

ホームページによるこそ!

神戸大学ラグビー部OB会では、ホームページを開設しています。

いろいろの情報が掲載されています。

パソコンのお持ちのOBの方は、是非、アプローチしてください。

HP address: <http://www2.odn.ne.jp/kobeurfob>

E-Mail 活用してOB相互の連絡を!

OBの会員の方で、e-mail address を取得されている方は、神戸大学ラグビー部OB会事務局の下記アドレスに大至急ご連絡ください。

神戸大学ラグビー部事務局

理事 吉川 邦英 氏 (S51卒)

〒542-0083

大阪府中央区東心斎橋2-1-1

タカラベルモント(株) 内